

第2回 防府市人権学習市民セミナー

日時：令和7年9月24日（水）

午後1時30分から午後3時まで

会場：防府市創業・交流センター 多目的ホール

【外国人問題】

演題：身近な地域から考える外国人との多文化共生

講師：特定非営利活動法人ほうふグローバルネット

代表理事 松浦 和子 さん

外国人のことを地域の中で身近に感じることができました。自分でも
できることからやってみようと思います。

（参加者アンケートより）

講師 松浦和子さんのお話より

1 青年海外協力隊員での経験について

青年海外協力隊員としてヨルダンに派遣された時は、私が外国人の立場でした。言葉の違いに苦労し、周囲の人に助けられ、なんとか生活していました。パソコンや電化製品に詳しい、日本人だから器用だとイメージで決めつけられることも多く、話の内容はわかっているけど、伝えられない、もどかしい経験もしました。ヨルダンの方々と関わる中で日常の一つひとつの価値観の違いに気づかされました。帰国後、防府市でも外国人を多く見かけるようになり、防府に住む外国人の暮らしが気になったことが、現在の活動をはじめたきっかけです。



講師 松浦和子さんのお話より

2 ほうふグローバルネットの活動

使う言葉も、文化も、宗教も、あたり前と思っていることもちがう外国人が防府市にもたくさん住んでいます。ほうふグローバルネットでは、浴衣の着付け、スポーツ交流会、巻き寿司作り等、日本文化を知ることや日本人との交流を楽しむイベントを開催しています。また、地域行事に参加してもらう活動も行っており、最近では中国人の技能実習生6人が同じ地区に住んでいる子どもと一緒に餃子作りをする交流イベントを行いました。外国人の中には生活に困ったことがない人もいますし、外国人同士のコミュニティがあり、日本人がいなくても生活できてしまうという日常があります。交流イベント等を通して、相互理解を深めていければと思っています。



3 多様な価値観をもつ人達と共生するために

外国人といっても、一言では言えないくらいにその背景は多様です。「自分とは違う」から、一歩進むためには、意見の違いの理由を聞いてみてください。共感ができなくても、その人なりの理由があることに気づくことができます。言葉や文化等に違いがあっても、感情に共感することはできると思います。世界の遠い国のことでも、自分にもつながっていることがあると気づくことができます。そして、新たな発見はワクワクにもつながっていくと思っています。目の前にいる多様な価値観をもつ人達と共生できる社会となることを願っています。

市民セミナー参加者アンケートより

- 外国人との多文化共生について具体的な手法を教えてくださいました。やさしい日本語を使うこと生活言語能力、学習言語能力を高めるための支援を続けておられることなど。でも何より大切なことは一人の人間として尊重し温かい心がけだと思いました。
- 昨今、日本に住む外国人は増えていて、実際に肌で感じることも多々ある。その中で接し方が分からないなと思っていましたが、本セミナーを受けることで少し分かったような気がしました。自身でもインターネット等を通じて積極的に調べてみようと思います。ありがとうございました。

《感謝の言葉の部分は省略させて頂き、原文どおり掲載しています。》